

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	管理者の思いを浸透させ、職員の方向性を一致させるため、鎌田の理念・目標を職員と共に認識することが望まれる。	鎌田に於いての理念・目標を新たに作成し、職員の方向性を一致させ、共に認識できる体制を目指します。	職員会議に於いて、新たな理念・目標の作成を行います。	4ヶ月
2	26	アセスメントをもとに介護計画を作成し、全職員がそれに基づいたケアをして行く事が大切である。その場しのぎのケアにしないためにも、定期的な介護計画作成の実現を期待したい。	全職員並びに関わる全ての方々が介護計画に基づいたケアを行える体制を目指します。	職員の方向性を統一出来る様にカンファレンスを行い、介護計画に基づいたケアを行います。	1ヶ月
3	33	利用者の高齢化に伴い、重度化や終末期ケアが増える事が見込まれる。職員の対応力を付けるための、研修の実施と更なる意識付けのために、マニュアルや終末期の対応指針の再確認をする事を望みたい。	終末期ケアが増える事を想定し、研修やカンファレンスを行うと共にマニュアルや終末期の指針を再確認します。	終末期ケアの研修や主治医の指示の基に想定される事案を職員間で共有し、本人様やご家族様のご意向を大切に取る取り組みを行います。マニュアルや終末期の指針を同じく再確認します。	3ヶ月
4	40	食事は食欲を満たすだけでなく、楽しい時間なくてはならない。また状態を把握したり思いを知る絶好の機会でもある。食事の意義を再確認し、職員も同じ食卓を囲む事が望まれる。	職員も同じ食卓を囲める事を目指します。	現在の勤務体系、業務体系、予算を見直し、理念や目標等を総合した中で、実施出来る体制作りを行って参ります。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。